

吟道月報

No.40

50.11.5

碩心会

吟道夜はなし(十一)

詩文の暗誦

会長 三井 雲岳山

吟の錬成は一、節、二声、三品位、或は一、声、二節、三品位とも言はれ、先づ声を出し、節調を覚えることとされている。声は勿論、初めから出せる人と、全然出せない人がいる、それが回を重ね放場の空気になり、先輩に和し先生に励まされて半年一年位たつと見違える様な声が出てくる。節調もそれにつれて一応形が出来てくる。この辺で所謂初吟が授けられる。ところがこの初吟以上の審査には課題吟の暗誦朗詠が要求される。これに皆さん一苦勞の杯で、中吟、五段、大段となるというふうと自分で工夫して暗記して審査に向か合はせて居られる杯です。若い時はいざ知らず、五

十を過ぎると覚えた積りでも、すぐ忘れます。私も私なりにいろいろやりましたが、平素習つ

た詩文の特に自分の好きな詩文、又吟じ易い詩文を取り上げ解説の意味を充分解るまで読む、それを白紙に書き下す。その紙を覚えるまで常時持ち歩く、二分三分の待ち時間、或は歩き乍ら微吟して見る、忘れたら紙を出してよく見る、それをただんで又初めからやり直す。つかえたら又見る。又初めからやり直す。この初めからやり直すことが大切です。絶句なら一日か二日位、長詩は長さによつては一週間位かかりましょうが、覚えるまでやることです。一度覚えたからと安心しては駄目です。二ヶ月毎に又やり直す、交通地獄の折ですから、電車の中が一番いい杯です。私には大船、茅ヶ崎の往復時、山ノ根放場行の歩行時が暗誦の場になっています。長い詩は途中でひっかかると中々思い出せませんが、初めからやり直すと、すうっと出て来ることがあります。

お坊さんのお経も、毎日くり返しているから経本を見ないで、すう／＼出てくるのでしよう。

自分の好きな詩文を十か二十、これをやつて覚える、それが基礎になって、課題吟の二つ位の暗記は、さしてむづかしくないと思います。

以上

県本部関係

県本部の今年の行事も大半を終り、来る十一月二十九日(土)金沢区町屋会館での納吟会を以つて約二ヶ月の休みに入ります。皆さんの行事その他に閑し御協力有難うございました。

碩心会本部関係

◎ 本年秋季奉旨者初段(20名)二段(12名)初依(20名)三段(16名)四段(42名)中依(19名)五段(13名)大段(21名)興依(2名)

準師範(1名)師範(1名)計一六七名に対する許証授手は十一月二十日(木)午後七時半、逗子会場、なぎさ会館で行います。各支部より代表者参集されたし。

◎ 碩心会葉山地区では、廿九回葉山文化祭、詩吟詩舞の会に百七十余名参加、立体吟、華道、書道、詩舞を含め一ニ八題を出し極めて盛況裡に終了した。

十年の歳月が、ここまで会員を増し内容を向上させ美しい見せ場を作り吟声高らかに終始した事は、感激の極みでありました。

◎ 本年の吟納めは十二月十三日(土)から二十日(土)頃までの間に各支部毎に日取りを決め、総務に御連絡下さい。

◎ 会費名簿は作製後二年以上を経過し、新しい会員も多数加わりましたので、近々新しく作り度いと思えます。現名簿と月報に記載訂正したものにつき、更に再確認の上、氏名、雅号、住所、電話番号等の間違がありましたら、各支部長の責任を以つて十一月末日ま

下に総務宛御報告下さい。
尚理事の交代等もありましたり同時に御報告下さい。

会員の異動

退会者

27	堀内支部	新井 佳代
	吟甫	板橋 達雄
	吟甫	石井 登
	吟甫	丸山 忠正
	下山	寺内 治子

新会員

堀内口	遠藤 とし	葉山町堀内七三一	電話三〇三三四
〃	板橋まことの	葉山町堀内三〇三	電話三三六二一
〃	井上 ぎよ	葉山町堀内三七七	電話四一五五
〃	内藤 寅治	堀内七四三	電話二二七九

新会員 (つづき)

堀内E	矢島 太一	葉山町堀内一〇九六	電話三九四九
沼間	松井 英子	逗子市沼間三〇の五	電話一六八八二
沼間	草柳タツ子	逗子市池子三〇の九	電話一五〇九六
上山口	石川 喜市	葉山町上山口八一六	電話七〇一六
上山口	小川 清一	葉山町上山口九四四	電話七二五八
下山口	横間恵美子	葉山町堀内一六六八	電話一六七四

移籍

152	村田紘山	堀内支部より上山口支部へ
161	荒谷月山	逗子市支部より 桜山支部へ

住居番地変更

8	小峰順風	堀内五〇三と 三九四の九に
18	小峰智風	堀内五〇三と 三九四の九に

訂正

月報39号 新会員、鈴木君義は 鈴木君蔵の誤り
同右 下山口 坂入 止は、誤につき削除

新支部の開設

所在：葉山町一色六八一番の七 佐久間沖之助宅
 一色滝ノ坂支部（略称 滝ノ坂支部）

加藤圭一	葉山町一色七〇六番	電話一八五四
鈴木一郎	葉山町一色一七九四	電話三三五六
岩沢哲夫	葉山町上山口一〇六	電話一六二六三

近く四〜五名入会の予定あり。

総務より

五十年度下期本部費、左の通り受領致しました。この表を以つて受領証に替えさせて頂きます。支部長さん、会計さん、色々御世話様でございます。

支部名	人数	金額
銀詠A	13	5,460
銀詠B	6	2,520
堀内	75	31,500
松和	15	6,300
逗子A	21	8,820
逗子B	9	3,780
建設	11	4,620
大船A	18	7,560
大船B	14	5,880
大船C	2	840
諏訪	11	4,620
山の根	4	1,680
沼間	14	5,880
長柄	13	5,460
一色	26	10,920
葉警	4	1,680
桜山	15	6,300
下山口	20	8,400
吟甫	8	3,360
富士見	4	1,680
上山口	8	3,360
戸塚	10	4,200
滝の坂	3	1,260
計	324	

支部長会議開催

左記の通り支部長会議を開催します。御出席下さい。

- ◎ 日時 十一月十五日（土）午後七時半
- ◎ 会場 なぎさ会館（逗子支部放場） ながさ通り
- ◎ 議題 五一年初吟会 その他

以上

◎ 月報39号記載の吟道夏季講座講師吹込みのカセットテープ一応×切りお渡ししましたが、追加注文が二、三ありますので、十一月二十日まで希望の方は申込み下さい。（これで×切とします。）

号外

横山岳精先生のレコード五枚一組、六六曲目（二万円）目下売出中で、逗子駅前小林レコード店に、常時ニセット位準備させてあります（会長）